

## 第3学年2組 道徳学習指導案

指導者

### 1 主題名 生命の尊重 ～ハゲワシと少女～

#### 2 主題設定の理由

生命はかけがえのない大切なものであって、決して軽々しく扱われてはならない。しかし、中学生の時期には、健康に毎日が過ごせるためか自己の生命に対する有り難みを感じている生徒は決して多いとはいえない。病院での死が大半を占める日本の現在、身近に死を感じたり、人間の生命の有限さやかけがえのなさに心を揺り動かされたりする経験をもつことも少なくなっている。近年、生徒児童による凶悪事件や無差別的な殺人事件の発生が問題となっているが、このような社会状況も背景の一つにあるのではないかとと思われる。

したがって、生徒に生命について深く考えさせ、自他の生命を尊重する態度を養うこと(価値的・態度的側面)は大変重要であると思われる。

世界の子どもたちのおかれているさまざまな状況を知り(知識的側面)、援助の仕方など、その状況を打開していくために自分ができること(技能的側面)を考えさせる題材である。

本学級の生徒(男子21名、女子15名)は、学習態度も良く、比較的落ち着いた雰囲気である。1学期には、体育祭に対して大変積極的に取り組み、団結、協力することの素晴らしさに気づく姿が見られた。しかし、まだ、力の強い子の言動に左右され、反論せずに、あまり関わりを持ちたがらないという傾向がみられる。また、軽はずみに、人を傷つけるような発言をしたり、命を軽んじるような言動が見られることもある。しかし、行事などで成功体験を味わう中で、自分の周りの人の価値や尊さを感じ優しい言動が増えつつある。

指導に当たっては、ケビン・カーターがスーダンで撮影したハゲワシが少女を狙っている写真を用いて、班の形態で生徒の意見を聞き合いながら展開していく。最初に生徒に写真を提示する際には、写真を半分に折り、ハゲワシだけを見せ、何を狙っているのかを想像させる。その後、残り半分の少女を見せるが、その際、生徒たちはショックを受けることが予想される。心を揺さぶりながら、意見を引き出し、それを中心に授業を進めていきたい。まとめの段階では、ケビン・カーターの行った行動について意見を言わせるが、それをあえてまとめるのではなく、子どもたち自身の考えを尊重した授業にすることで、人権を尊重する態度や行動(価値的・態度的側面)につないでいこうとする意欲を高めたい。

### 3 指導計画 1時間 生命の尊重 ～ハゲワシと少女～ 道徳内容項目 3-(2)生命の尊重

#### 4 本時のねらい

##### 知識的側面

- ・ 世界には飢餓に苦しんでいる人が多くいることを知り、命の尊さを知る。
- ・ 人権侵害等に関する現状について知る。

##### 価値的・態度的側面

- ・ 人間の尊厳，自己及び他者の価値を感知し，人権の観点からの自己自身の行為への責任感をもつ。

##### 技能的側面

- ・ 他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性をもつ。

#### 5 準備

地図帳 道徳プリント 資料（ハゲワシと少女の写真） プロジェクター  
マグネットシート（めあて）

#### 6 展開

| 学習活動と内容                                | 資料教具 | 教師の支援                               | 評価<br><評価方法>                  | 配時 |
|--|------|-------------------------------------|-------------------------------|----|
| 1 本時のめあての確認<br>「世界の子どもたちについて知ろう」       |      | 世界の子どもたちについて学習することを告げる。<br>T1:一斉指導  |                               | 1  |
| 2 主題の確認                                |      | T2:入り込み指導                           |                               | 1  |
| 3 スーダンのことを学習することを<br>知る。               |      |                                     |                               | 3  |
| 4 スーダンを地図帳で調べる。                        |      | 見つけられないときはヒントを出す。スーダンはアフリカ大陸。       |                               | 3  |
| 5 スーダンと「8億」の関係について考える。                 |      | 「8億」という数字とスーダンの関係で連想されることを自由に発表させる。 | 価値的・態度的側面                     | 5  |
| 6 フォトランゲージ<br>半分に折られ，子どもの姿が隠してある写真を見る。 | (半分) | 写真から分かったことを自由に発言させる。                | 人間の尊厳，自己及び他者の価値を感知する。<様相チェック> | 1  |
| 7 写真に写っている動物の名前を知る。(ハゲワシ)              |      |                                     |                               | 2  |
| 8 何をねらっているのかを想起する。                     |      | 自由に発言させる。                           |                               | 1  |

|  |      |  |                                      |   |
|--|------|--|--------------------------------------|---|
| 9 写真を全部見る。   | (全体) | 自分が予想したのと同じであったかを聞く。(意外に感じると思われる。)   |                                      | 1 |
| 10 写真の説明を聞く。                                       |      | ハゲワシが少女を食べようとねらっているということを知らせる。   |                                      | 1 |
| 11 写真を撮った写真家の説明を聞く。                                |      | ケビン・カーターはこの写真を撮ってピューリッツァー賞をもらったことを説明する。<br>ピューリッツァー賞の説明をする。  |                                      | 5 |
| 12 写真に写った少女の説明を聞く。                                 |      | 少女の状態を考えさせる。   | 知識的側面                                | 3 |
| 13 飢餓問題の説明を聞く。                                     |      | 食べ物がなくなってしまい動けなくなってしまったことを知らせる。(飢餓)<br>飢餓に苦しんでいる人が世界で約8億人、毎日約24000人の命が亡くなっており、そのほとんどが子どもであることを知らせる。(日本の人口と比べさせる) | 人権侵害等に関する現状についての知識を得る。<br><様相チェック>   | 5 |
| 14 ケビン・カーターの写真と飢餓問題についての説明を聞く。                     |      | この写真によって飢餓問題が世界中にアピールされたことを説明する。   | 技能的側面                                | 3 |
| 15 ケビン・カーターのとった行為について考える。                          |      | 彼のとった行為は2つの意見に分かれたことを知らせ、自分たちの意見はどちらかを   | 他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性を測る。     | 8 |
| 16 発表する。   |      | 班で話し合わせ、発表させる。   | <プリント分析><br>価値的・態度的側面                | 3 |
| 17 この少女のこの後について考える。そして、この状況を打開するために自分にできることは何か考える。 |      | この後少女が死んだということを知らせる。そして、この状況を打開するために自分にできることは何か聞く。   | 人権の観点からの自己自身の行為への責任感を測る。<br><プリント分析> | 2 |
| 18 今日の授業の参加度・感想を考える。                               |      |  |                                      | 2 |